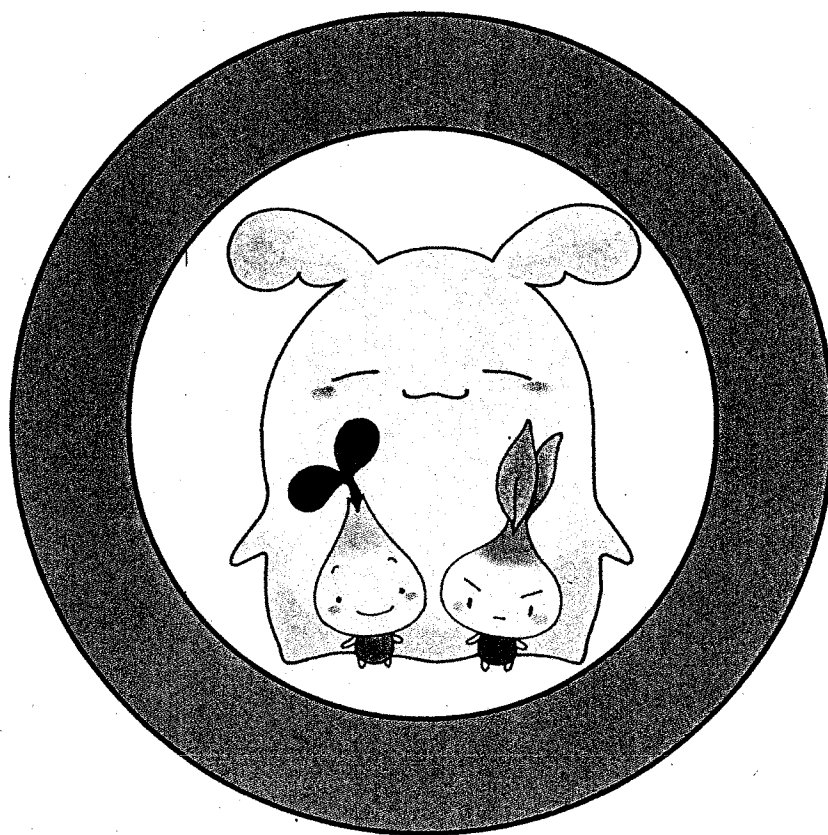


**令和6年度新宿区協働推進基金助成金
一般事業助成
公開プレゼンテーション**



令和6年5月28日（火）
プレゼンテーション会場：新宿区役所本庁舎6階 第2委員会室

新宿区地域振興部地域コミュニティ課管理係

☆助成金の目的☆

新宿区では、地域課題を解決し区民の生活をよりよくするために、社会貢献活動への協働推進基金を活用した助成を通じて、NPO等(特定非営利活動法人・ボランティア団体等)団体が安定した事業活動を行うための支援を行います。

協働推進基金とは？

区民及び事業者等からの寄附金を積み立て、助成を行うことで、協働による地域社会づくりの推進するために、平成16年度に設置した基金です。

☆助成対象活動☆

区民の福祉の向上を目的とした社会貢献活動で、NPO等の特性を活かして、新宿区の地域課題や社会的課題の解決を目的とし、区民の社会貢献活動の啓発に寄与する事業に助成を行います。

☆助成対象団体☆

特定非営利活動法人(NPO法人)やボランティア活動団体等の営利を目的としない団体を対象としています。

☆助成金の額☆

助成額は1事業あたり上限50万円で助成対象経費の2/3までを助成します。

同一または継続性のある事業については3回まで助成が可能で、2回目以降の助成率は、助成対象経費の1/2までです。

新型コロナウイルス感染症対策経費は上限2万円まで、助成率10/10で助成します。

(※助成金に上乗せするものではなく、50万円に含みます。)

令和6年度予算総額は200万円です。

1 プログラム

13時30分 開会

13時35分 新宿区協働支援会議座長挨拶・委員紹介

13時45分 プレゼンテーション実施要領説明

13時50分 プレゼンテーション開始

* プレゼンテーション進行予定時間

(団体名)

(開始時刻)

1 臨床検査支援協会		13:50
2 チャプチャアカデミー		14:25

15時35分 終了予定（※進行予定時間は前後する場合があります。）

2 プレゼンテーション実施団体及び事業概要

プレゼンテーション実施順

No.	団体名	事業名	助成申請事業概要	ページ
1	NPO 法人 臨床検査支援協会	新宿区民を対象とした健康体験フェアと健康セミナー	① 主な対象 大人から子どもまで ② 目的 健康体験フェア（簡易検査）をとおして、区民の皆さんにご自身の健康状態に興味を持ってもらい、今後の健診受診率向上に繋げ、結果的に健康長寿社会実現にも繋がることを目的とした事業。 ③ 活動内容 健康体験フェアと健康セミナーを地域センターで開催予定	申請書類 P5～P11 プレゼンテーション資料 P13～P18
2	NPO法人 チャプチョアカデミー	外国にルーツをもつ子どもたちへの日本語教育・多文化共生社会の実現	① 主な対象 外国にルーツをもつ子どもたち、国際交流に関心のある一般市民 ② 目的 外国にルーツをもつ子どもたちの健全な育成と、その親を含む子どもたちが円滑に地域に適應すること、そして地域社会の多文化共生の社会づくりに寄与すること。 ③ 活動内容 (1)外国にルーツをもつ子どもたちへの日本語教育事業・(2)文化・芸術を通しての国際交流・(3)進路相談のサポート、高校受験対策支援事業・(4)居場所づくり、カウンセリング活動（家族）事業	申請書類 P19～P28 プレゼンテーション資料 P29～P33

☆ご協力をお願い☆

アンケートを配布しています。今後の事業実施にあたって参考とさせていただきますので、是非ご協力をお願いします。

ご協力いただいた方にはもちろん、表紙にもなっている基金キャラクターのボールペンを贈呈！！お帰りの際にアンケート回収ボックスへ入れてください。

令和6年度一般事業助成二次評価(公開プレゼンテーション)概要

1 日 時 令和6年5月28日(火) 午後1時30分から午後4時00分まで

2 場 所 プレゼンテーション会場 新宿区役所本庁舎 6階 第2委員会室
(新宿区歌舞伎町1-4-1)

3 プレゼンテーションの実施内容

(1) プレゼンテーションは公開しております。

(2) プレゼンテーションの登壇可能人数は、1団体3名以内とします。

(3) プレゼンテーションの方法は自由とします。

会場には、パソコン、プロジェクター等の機器を設置しています。事前にパワーポイント等の利用を申し出た団体のみ、パワーポイント等を利用できます。

(4) プレゼンテーション実施順番に不在の団体は、二次評価を棄権したものとみなし、評価対象から除外させていただきます。

(5) 1団体の発表時間は15分とします。※一次評価での疑問点の回答を含みます。

(6) 委員からの質問時間は15分とします。

(7) 評価方法は、申請書類、プレゼンテーション、質疑応答の内容に基づき評価を行います。

なお、評価委員の質問内容及び評価項目には、申請時にご提出いただいた全ての書類(団体活動資料等の参考資料部分は、事務局で内容を精査して適量を添付しています。)の内容を含みます。

4 助成の決定

助成団体の交付申請結果通知書は6月上旬に送付します。

助成決定団体は、区のホームページ上でも公表します。

事業計画書

団体名	特定非営利活動法人 臨床検査支援協会
事業名	新宿区民を対象とした健康体験フェアと健康セミナー
① 事業目的・概要	ア 事業目的 当会は、国民の健康と医療の発展に貢献することを目的に様々な活動を実施しております。 この度、新宿区民の皆様を対象とした健康体験フェアと健康セミナーの開催を企画いたしました。これらのイベントを通しまして、区民の皆様の健康への思いに少しでもお役に立てればと考えております。
	イ 事業概要 新宿区民の皆様にはまずご自身の健康状態に興味を持っていただくため、手軽な非侵襲性検査機器（血液採取不要の触れるだけで測定できる検査機器）により、現在の状態を把握いただく。更に健康セミナーにより医療機関で受ける臨床検査への理解を深めていただき、必要があれば受診に繋がれば良いと考えます。
② 地域課題・社会的課題	新宿区の国民健康保険者の特定健康診査（40歳～74歳）の受診率は令和2年度（29.3%）まで減少傾向にありましたが、令和3年度（32.0%）、令和4年度（34.4%）と2年連続で2ポイント以上、増加しました。 出典：第5期 新宿区健康づくり行動計画（P.72） なお、東京都全体の令和4年度受診率の43.1%と比べると8.7%ほど低い。 出典：令和4年度 市町村国保特定健康診査・特定保健指導実施状況報告（P.5） 健康診断等を毎年受けている割合を、男女年齢2階級別でみると、「毎年受けている」は「男性（20～64歳）」が77.4%と最も高く、次いで「女性（20～64歳）」が68.0%、「男性（65歳以上）」が64.4%、「女性（65歳以上）」が57.1%、と続いている。なお、全体でみると新宿区で「毎年受けている」は68.7%で、東京都区市町村平均の72.7%と比べて低い割合であった。 出典：令和2年度 都民の健康や地域とのつながりに関する意識・活動状況調査報告書（P.78） 介護が必要となった主な原因について、性別でみると男性の場合は「脳血管疾患（脳出血、脳梗塞、くも膜下出血等）」が15.9%と最も高く、次いで「高齢に衰弱」「認知症」の順となっています。女性の場合は「骨折・転倒」が17.7%と最も高く、次いで「高齢による衰弱」「関節の病気（リウマチ・変形性膝関節症等）」の順となっています。 出典：第5期 新宿区健康づくり行動計画（P.14）

	新宿区の施策として保健センターで各種検査の事業は実施されていますが、平日のみの事業であり、就労の事情などから平日に保健センターでの当該事業を受けにくい区民の方々も少なからずいる状況が推察されます。 また、国は健康寿命の延伸に取り組んで久しいですが、平均寿命との差はなかなか縮まっておりません。このような現状のなかで健診受診率は仕事をリタイアされた方々や家庭に入られている主婦の方々は低率であり、当会の活動が少しでもご自身の健康維持・管理のための気づきとなればと思います。
③ 活動内容 (イベントが複数ある場合は、こちらのページを複写して作成してください)	I. イベント (会議) 名 : (健康体験フェアと健康セミナー)
	ア イベント (会議) の開催予定等
	活動内容: 健康体験フェアで骨密度、血管年齢、肌年齢、ヘモグロビン濃度、AGEs 検査 (老化の原因物質)、認知症関連などの測定を行い (機器は未定)、現状を把握いただく。健康セミナーで講師が各種臨床検査の有用性などについて 13 時から 30 分程度 1 回ご説明する予定です。
	実施期間: R6 年 6 月 ~ R7 年 3 月
	実施回数: (1) 回/月 (年)
	実施場所: オンライン ・ (会場) (大久保地域センター多目的ホールを予定)
	イ 対象者及び参加予定人数
	対象者: 50 名
	参加予定人数: のべ (50) 名
	ウ 周知
	<媒体> ☒ ポスター ☒ チラシ ☒ HP ☐ その他 () <周知先> ☒ 区施設 (特別出張所、地域センター等) ☒ 区直営掲示板 ☒ その他 (ポスティング)
	エ スタッフ等人数 (のべ人数を記載)
	団体構成員 (10) 名 講師等 () 名
	アルバイト () 名 ボランティア () 名
	II. イベント (会議) 名 : (健康体験フェアと健康セミナー)
	ア イベント (会議) の開催予定等
	活動内容: 健康体験フェアで骨密度、血管年齢、肌年齢、ヘモグロビン濃度、AGEs 検査 (老化の原因物質)、認知症関連などの測定を行い (機器は未定)、現状を把握いただく。健康セミナーで講師が各種臨床検査の有用性などについて 13 時から 30 分程度 1 回ご説明する予定です。
	実施期間: R6 年 6 月 ~ R7 年 3 月
	実施回数: (1) 回/月 (年)
	実施場所: オンライン ・ (会場) (柏木地域センター多目的ホールを予定)

	イ 対象者及び参加予定人数 対象者：50名 参加予定人数： のべ(50)名 ウ 周知 <媒体> ☒ ポスター ☒ チラシ ☒ HP ☐ その他 () <周知先> ☒ 区施設(特別出張所、地域センター等) ☒ 区直営掲示板 ☒ その他(ポスティング) エ スタッフ等人数 (のべ人数を記載) 団体構成員 (10) 名 講師等 () 名 アルバイト () 名 ボランティア () 名
④ 安全対策等 (箇条書きで ご記入ください)	ア 事業実施にあたっての具体的な安全対策 1、緊急事態が発生した場合に備え会場と非常口の位置を確認し、緊急避難時の手順と経路をスタッフ等へ周知徹底する。 2、事前に会場施設に訪問し、施設の方へご相談と指示を仰ぎます。 イ 事業実施にあたっての感染症等への対策 1、会場の出入り口と各測定機器の隣に手指消毒剤を配置し、ご来場の方にご使用いただく。 2、各測定機器で足首や手指など触れた箇所を測定の都度にアルコールで清拭する。 3、スタッフ等は手指消毒を励行し、マスクを着用する。
⑤ 期待される効果	ア 区民や地域社会への成果・効果 区民の皆様に参加していただき、まずは健康体験フェアの簡易検査と健康セミナーでご自身の現在の状態を把握していただき、健康に対し興味を持っていただくきっかけとなることが期待できます。この体験が今後の健診受診率向上にも繋がり、結果的に医療費削減にも繋がるものと思います。 イ 現状や課題に対する成果・効果 保健センターでの各種検査の事業を平日に受けられない区民の皆様に土曜日や日曜日にも体験いただけることにより、より多くの皆様への検査の機会拡大に貢献できるものと考えております。 また、健康体験フェアで骨密度測定検査などを体験いただくことにより日頃の健康管理への意識が向上し、要支援・要介護認定者及び給付金支給額の増加が少しでも抑えられる効果に繋がることが期待されます。

⑥ 先駆性・専門性	当会の執行部には著名な医師や専門性の高い医療従事者が在籍しております。各種委員会を設置し、国民の健康維持管理と医療の発展に貢献することを目的に多岐にわたる事業活動を展開しております。活動エリアは全国を対象に国民の健康増進に寄与する活動を行っております。
⑦ 今後の展望	来年度以降も当会の事業目的を遂行するため事業活動を展開して参ります。この事業活動の維持と向上のため、会員ならびに賛助企業を拡大し事業の自己予算の確保を推進いたします。 各助成金の活用で事業活動の地域を中野区から隣接の新宿区や杉並区へ拡大し、より多くの区民の皆様の健康増進に貢献して参ります。

⑧ 過去にこの助成を受けた実績	助成年度 () 事業名 ()
	助成年度 () 事業名 ()
	助成年度 () 事業名 ()
⑨ この事業に対する他の助成の有無 (申請中のものを含む)	■ 有 □ 無
	有の場合は、助成名称(団体)及び助成額 助成名(団体名): ①杉並区 NPO 支援基金 助成額: 300,000 円(申請済) ②中野区 区民公益活動に関する助成 助成金額: 200,000 円(申請予定) 各区民を対象とした地域限定事業です。 ※新宿区の他の助成制度からの助成が決定した場合には、本助成金は受けられません。新宿区以外の団体からの助成金がある場合には、その金額を差し引いた額が本助成額になります。本助成金への申請後に、同事業で新宿区外の補助金へ申請される際は、必ずご相談ください。

収支予算書

費 目		予 算 額	内 訳
支 出 区 分	①使用料及び賃借料	342,900 円	地域センター会場使用料（各多目的ホール 午前午後1・2） （大久保）4,000円×3コマ×1日=12,000円 （柏木）4,700円×3コマ×1日=14,100円 測定機器レンタル料 （68,200円+30,800円+26,400円+33,000円）×2日=316,800円
	②消耗品及び印刷費	36,605 円	チラシ印刷（A4両面カラー） 約5.71円×800枚×1.1=5,029円 ポスター印刷（A1片面カラー）1,435.3円×20枚×1.1=31,576円 ※見積書を基に算定
	③委託費	0 円	
	④講師謝礼	0 円	
	⑤その他謝礼	0 円	
	⑥交通費	18,000 円	1,000円×2日×9名=18,000円 ※講師1名分を除いて計上
	⑦保険料	0 円	
	⑧その他諸経費	0 円	
	⑨感染症等対策経費	14,000 円	※上限額2万円以内 (20,000)
			手指消毒剤代 1,000円×7本=7,000円
			アルコール消毒シート1000円×5個=5,000円 マスク代2,000円
	⑩人件費	137,168 円	※下記「事業費」の25%以内 (137,168)
			（団体構成員分）時給1,200円×5.5時間×9人×2日=118,800円
			（団体構成員講師分）10,000円×1人×2日=20,000円 うち1,632円は助成対象外経費へ
	事業費（①から⑩の合計）	548,673 円	
	⑪ファンディングに関する経費	円	※事業費の5%以内 (27,433)
	⑫助成対象経費（事業費+⑪）	548,673 円	
	⑬助成対象外経費	1,632 円	人件費上限超過分
事業総額		550,305 円	

内 容		予 算 額	積 算 根 拠（内 訳）
収 入 区 分	⑦ 事業収入 （参加料、資料代等）	50,000 円	参加料 500円×50名×2日=50,000円
	① 寄附金	円	
	② 補助金等収入	円	
	⑤ 協働推進基金助成金	370,000 円	「①～⑧、⑩～⑬の合計」の2/3と「⑨」の合計 ※千円未満切り捨て
	④ 団体負担金	130,305 円	
	収入総額	550,305 円	

団 体 概 要 書

団 体 名	(ふりがな) とくていひえいりかつどうほうじん りんしょうけんさしえんきょうかい 特定非営利活動法人 臨床検査支援協会	
所 在 地 (主たる事務所)	[REDACTED]	
代 表 者 氏 名	(ふりがな) みやざわ ゆきひさ 宮澤 幸久	
	連絡者氏名	[REDACTED]
	住所	[REDACTED]
	電話	[REDACTED] FAX [REDACTED]
	e-mail	[REDACTED]
設立(活動)開始年月 (法人設立年月)	法人の場合 法人設立 2018年2月 その他の場合 年 月活動開始 活動歴 年 か月(2024年3月末日現在)	
会 員 数 (構 成 員 数)	個人： 団体：47	入会条件 特に条件はありません。約款で理事長は入会申し込みがあったとき、正当な理由がない限り、入会を認めなければならぬと定めています。
主 な 活 動 地 域	東京都 中野区・市 その他(全国 主に関東圏)	
広 報 関 係 の 有 無	(会報、広報誌等の発行)	
	(有) (年 回発行) / 無 ----- (ホームページ) (有) (URL https://www.asci.or.jp) / 無	

団 体 の 目 的 (定款の目的)	この法人は、広く一般市民を対象として、臨床検査に携わる人材の確保と質の向上を支援する事業及び臨床検査の普及啓発に関する事業等を行い、臨床検査を通じて国民の健康と医療の発展に貢献することを目的としています。
主 な 活 動 (具体的に記入してください)	新宿区民を対象とした活動 現時点ではありません。今回の助成金申込みを契機に新宿区民の皆様を対象とした活動を実施していきたいと考えております。 上記以外の活動 ・印刷物の作成と配布:コロナ検査、健診項目検査小冊子 ・最新医療情報の提供:第4号機関誌(2024年3月)、第4号座談会誌(2024年3月) 企業団体向けWEBセミナー(計10回) ・健康フェアの開催:中野区健康体験フェア(2023年2月18日、3月18日) 第17回ふなばし健康まつり(2023年11月5日)、中野区がん哲学連絡会フェア(2023年12月2日)、中野区パネル展示
新宿区との連携実績	・部署名 ・連携事例 ・連携した内容の詳細

令和6年度協働推進基金助成金 一般事業助成二次評価（公開プレゼンテーション）

◇日時：令和6年5月28日（火） 午後1時
30分～

◇会場：新宿区役所本庁舎6階第2委員会室
（新宿区歌舞伎町一丁目4番1号）

特定非営利活動法人 臨床検査支援協会（ASCL）

〒164-0011 東京都中野区中央1-44-6 ステージ中野坂上100

TEL/FAX:03-5937-1396 E-mail: info@ascl.or.jp

URL: <https://www.ascl.or.jp>

ASCL 特定非営利活動法人 臨床検査支援協会とは

Association for Support of Clinical Laboratory :

ASCL(アスクル)

本法人は、広く一般市民を対象として臨床検査技能の向上支援、検体検査の精度向上、学術講演会企画開催、臨床検査及び臨床検査技師の社会的認知向上のための普及啓発を行なう非営利団体です。

これらの活動を通じて、保健医療を担う人材の確保と質の向上を図り、ひいては国民の健康と医療の発展に貢献していくことを目指しています。



特定非営利活動法人 臨床検査支援協会

理事長 宮澤 幸久

事業活動

●技術向上支援委員会

活動内容：臨床検査技師の技術向上を目的として、臨床検査関連団体の教育や人材育成活動などを支援

●検査室運営支援に関する委員会

活動内容：臨床検査室運営に関する多様な活動を支援し、医療機関や団体の研究事業などの助成活動

●学術講演会開催委員会

活動内容：検査関連団体の学術活動に参加し検査情報提供と共に本協会事業の理解と賛同を深める活動

●講演会支援委員会

活動内容：企業や検査関連団体の人材育成や教育に関しての企画を支援し、実行のサポート活動

●臨床検査普及啓発広報委員会

活動内容：市民を対象として臨床検査に関する情報発信活動や検査技師の認知度向上に向けた普及活動

●出版編集委員会

活動内容：医療従事者を対象に本協会の認知度を向上し、機関誌発行や座談会開催の情報発信活動

●学会連携推進委員会

活動内容：検査関連団体と連携し患者や市民との懸け橋として、臨床検査医学情報の活用を推進

役員

顧問	渡辺 清明	慶應義塾大学名誉教授
理事長	宮澤 幸久	帝京大学医学部名誉教授
副理事長	石橋 みどり	(医社) 誠馨会新東京病院
副理事長	山田 俊幸	自治医科大学
副理事長	諏訪部 章	(医社) 誠馨会新東京病院
理事	小川 眞史	(一社) 日本医療経営実践協会
理事	今 哲昭	Office Bang
理事	萩原 三千男	株式会社エスアールエル
理事	東條 尚子	東京都教職員互助会 三楽病院
理事	荒木 秀夫	株式会社東京未病センターTMC
理事	菅 俊香	ニッポーボーメディカル株式会社
理事	堀井 隆	島津ダイアグノスティクス株式会社
理事	坂本 秀生	神戸常盤大学
理事	井本 真由美	近畿大学医学部附属病院
監事	高橋 伯夫	関西医科大学名誉教授
監事	寺本 哲也	(公財) 黒住医学研究振興財団

事業活動例 (1) ～講演会、座談会の企画開催～



新型コロナウイルス感染症
～院内検査導入・空港検疫
検査の実態と今後の課題～

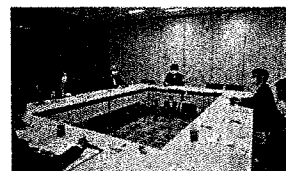


日時：2021年4月1日(木)

会場：株式会社日立ハイテク 本社会議室
東京都港区虎ノ門1-17-1

(撮影時のみマスクを外しています)

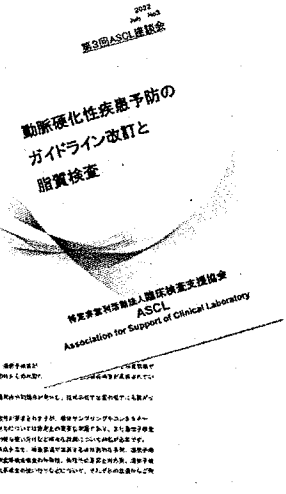
アルツハイマー病
による
認知症と臨床検査



日時：2021年11月1日

会場：株式会社日立ハイテク 本社会議室
東京都港区虎ノ門1-17-1

事業活動例（2） ～印刷物の制作発行～



第1回ASCL座談会
動脈硬化性疾患予防の
ガイドライン改訂と
脂質検査

座談会

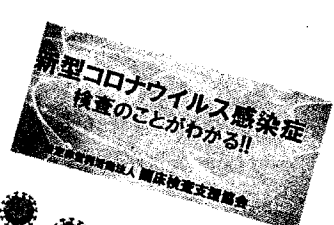
summary

特定非営利活動法人 臨床検査支援協会
ASCL
Association for Support of Clinical Laboratory



第3号
ASCL LETTER
臨床検査支援協会機関誌

特定非営利活動法人 臨床検査支援協会



新型コロナウイルス感染症
検査のことがわかる!!

特定非営利活動法人 臨床検査支援協会



漫画やイラストで学ぶ 臨床検査
血液・尿で調べる
検査結果の読み方

特定非営利活動法人 臨床検査支援協会
監修：日本臨床検査医学会
ガイドライン作成委員会



ヒトの細胞

監修：一般社団法人日本臨床検査医学会
新型コロナウイルスに関するFAQブック委員会

「NPO活動紹介パネル展」in夢通り(中野駅ガード下ギャラリー)

- 開催場所：中野駅ガード下ギャラリー「夢通り」西側
- 設置日：10月18日(月) 中野駅ガード下ギャラリー夢通りに3時30分現地集合(パネル持参)
- 展示期間：10月19日(火)～28日(木)
- 撤去日：10月29日(金)
- パネルの規格：縦105センチメートル×横100センチメートル程度の大きさ(枠無、印刷物のみ)

事業活動例（3） ～イベントの開催～

1. 健康日本21（第三次）の実現に貢献します。

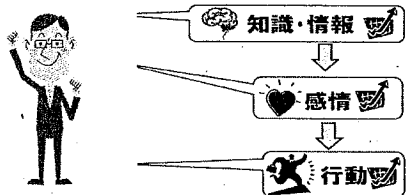
「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」
「個人の行動と健康状態の改善」
「社会環境の質の向上」
「ライフコースアプローチ*を踏まえた健康づくり」

健康日本21：「21世紀における国民健康づくり運動」

2. 行動変容を促し、健康寿命の延伸を目指します。

人間の行動変容

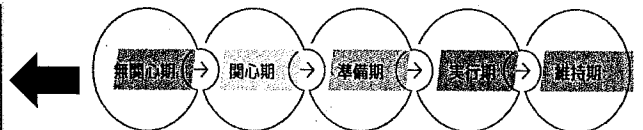
行動変容が起きる基本原理



知識や情報を得て、「感情」が変化することで
初めて行動変容が起きる

Copyright © by Mitterton Inc. All rights reserved.

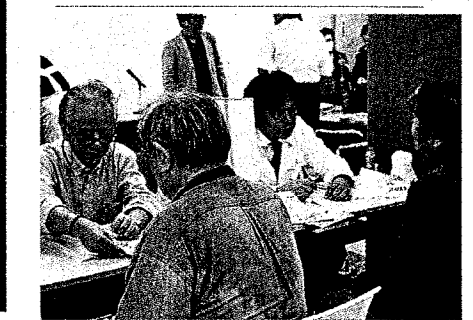
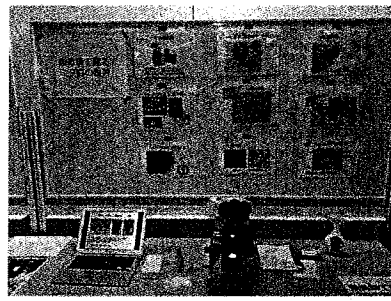
気軽に出掛けて
気楽に受けて
気に留めて



問題に気づいていない、些小軽微・無かったこととしてしまう時期
問題に気づいているけれども、まだ行動に移す準備が整っていない段階
実際に行動変容に向けて準備し始める段階
本格的にダイエットや運動などの行動変容に
ようやく継続の期待

© 2019 Mitterton Inc. All rights reserved.

健康体験フェアの実際



条件:病気の診断、治療法、検査結果の評価など、回答をしません。

「新宿区健康づくり行動計画」への提案

- 検診受診率の15%アップを目指す。
(健康日本21 第3次評価より)
- 新宿区特定健康診査の受診率34.4%を60.0%に増やすことへの支援
- 健康に関心の薄い方など、幅広い世代に対して、生活習慣を改めることができるようなアプローチ

健康体験フェアの開

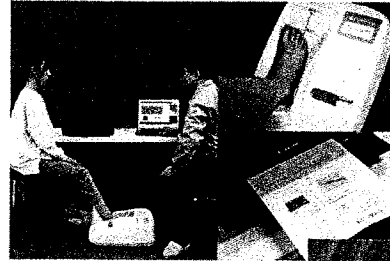
例

テーマ：骨粗鬆症の予防

高齢者と生活習慣病有病者の
転倒など骨折リスクを知る

使用機器：骨密度検査

骨密度測定



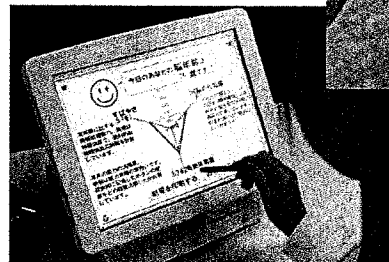
血管年齢測定



テーマ：生活習慣病の改善と早期発見
血管の老化を知る

使用機器：血管年齢

脳年齢測定



テーマ：呼吸機能チェック

肺の健康状態を知る

使用機器：肺年齢



参加して頂いた特典として小冊子「漫画やイラストで学ぶ臨床検査“なるほどメタボ健診”を進!

ミニセミナーの開

催

例

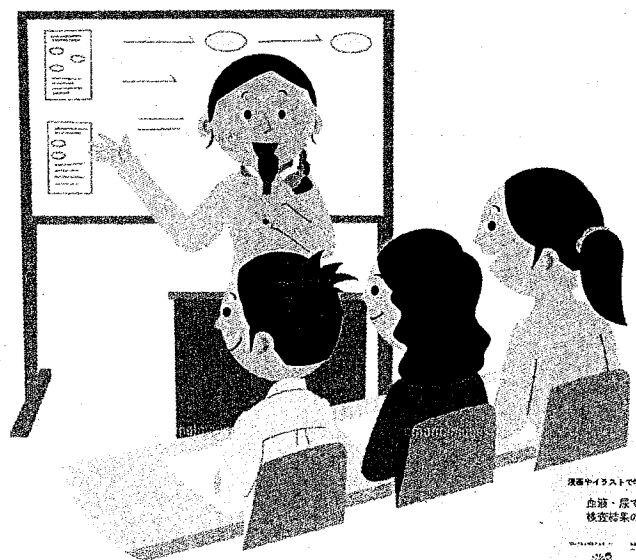
テーマ：性感染症とその検査を知ろう

- 子宮頸がんワクチンの効果
- 今、激増している性感染症と検査

テーマ：感染症の予防と消毒法

- 食中毒を起こす感染症とその予防
- 細菌やウイルスの消毒法を知る

参加して頂いた特典として小冊子「漫画やイラストで学ぶ臨床検査“血液・尿で調べる検査結果の読み方”を進呈



ご清聴ありがとうございました

特定非営利活動法人 臨床検査支援協会

Association for Support of Clinical Laboratory (ASCL)

〒164-0011 東京都中野区中央1-44-6

ステージ中野坂上100

TEL/FAX:03-5937-1396

E-mail : info@ascl.or.jp

URL : <https://www.ascl.or.jp>

事業計画書

団体名	特定非営利活動法人チャプチャアカデミー
事業名	外国にルーツをもつ子どもたちへの日本語教育・多文化共生社会の実現
① 事業目的・概要	ア 事業目的 私たちの使命は、子どもたちの健全な育成と、子どもたちが円滑に地域に適應すること、そして地域社会の多文化共生の社会づくりに寄与することである。 日本国内では近年、外国にルーツを持つ子どもたちが増えている。私たちが活動する新宿区も例外ではない。海外にルーツを持つ子どもたちは、様々な課題に直面している。言葉や文化の違いにより学校の勉強についていけなかったり、親も含め学校や地域社会に居場所を見つけることができなかったりといった様々な課題がある。 チャプチャアカデミーでは、子どもたちのために、勉強を教え居場所をつくるための活動に取り組んでいる。外国にルーツを持つ子どもたち、そして親が孤立しているという課題を解決するために、まずは子どもたちが日本語の読み書きをできるよう、日本語教室を定期開催している。子どもたちの居場所を作り、互いに交流を持ち、学校生活に適應していくための支援を継続する。そして、子どもたちの親も含め、外国ルーツの家族が日本社会で安心して暮らせるように支えることが本事業の目的である。
	イ 事業概要 1. 外国にルーツをもつ子どもたちへの日本語教育事業 2. 文化、芸術を通しての国際交流 3. 進路相談のサポート、高校受験対策支援事業 4. 居場所づくり、カウンセリング活動（家族）事業

② 地域課題・社会的課題	新宿区には43,600人以上の外国人が暮らしている。(注1)その中でも新大久保のエリアは、日本一の多民族・多文化コミュニティを構成しており、韓国だけでなく、ベトナム・ミャンマー・ネパール・フィリピン等の多くの外国出身の人々が増えてきている。新宿区内の小学校でも子どもたちの出身国は様々で、中には学校便りを10ヵ国語で発行している学校もある程である。 このように多様化する社会の中で、外国をルーツに持つ子どもたちを取り巻く状況は様々であり、母語が日本語ではない場合学校での授業についていけない、また子どもの親も日本語の読み書きができないといった問題が生じてくる。コミュニケーションの壁によるコミュニティからの孤立、学校の成績の低下、勉強に対する意欲の低下など、生じうる課題は数えきれない。 当団体の前身団体である「チャプチョ教室」では、新大久保にある民間の文化センターを借りて、韓国にルーツを持つ子どもたちに勉強を教える学習教室を開校していた。ボランティア教師が、日本語(国語)、算数、英語を、教室に通う小学生から高校生までの生徒一人ひとりの習熟度、理解度に合わせて教えていた。教室に通う子どもたちの境遇はさまざま、言語の問題から学校の授業についていけなかったり、両親が夜遅くまで共働きで働いていたりといった事例が多かった。このように「孤独・孤立」につながる多くの課題を抱えているという状況があり、現在でもそのような境遇に置かれている子どもたちが数多くいる。特に外国にルーツを持つ人口が多い新宿区において、この課題は現在でも深刻であることが容易に推察できる。 (注1)出典：新宿区公式サイト「新宿区の人口」 https://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/index02_101.html
③ 活動内容	I. イベント(会議)名：(日本語教室) ア イベント(会議)の開催予定等 活動内容： ・外国にルーツをもつ小中高生を対象とした日本語や教科学習の支援活動を行う。 ・自己のルーツを大切にするための特別授業を各学期末(7・12・3月)に実施する。 実施期間：R6 年 6 月 ～ R7 年 3 月 実施回数：(4～5) 回/月 実施場所：会場(新宿区立大久保小学校、大久保地域センター) イ 対象者及び参加予定人数 対象者：外国にルーツを持つ子どもたち15名 参加予定人数：のべ(720)名 ウ 周知 <媒体> ☐ ポスター ☒ チラシ ☒ HP ☐ その他 () <周知先> ☒ 区施設(特別出張所、地域センター等) ☒ 区直営掲示板 ☐ その他() エ スタッフ等人数 (のべ人数を記載) 団体構成員 (5) 名 講師等 () 名 アルバイト () 名 ボランティア (22) 名

③ 活動内容	Ⅱ. イベント（会議）名：（ 文化・芸術国際交流事業 ）
	ア イベント（会議）の開催予定等
	活動内容： ・互いの母語や文化・風俗を学びあったり、体験したりするためのイベントを実施する。多文化体験や、民族音楽・民話・伝統的な遊びを体験してもらう。 実施期間：R6 年 6 月 ～ R7 年 3 月 実施回数：（ 2～3 ）回／年 ※8、10 月実施予定 実施場所：会場（ 大久保地域センター ）
	イ 対象者及び参加予定人数
	対象者：小中高生・保護者、国際交流に関心のある一般市民 参加予定人数： のべ（ 60 ）名 ※3 回実施の場合。1 回あたり約 20 名
	ウ 周知
	<媒体> ☐ ポスター ☒ チラシ ☒ HP ☐ その他 （ ） <周知先> ☒ 区施設（特別出張所、地域センター等） ☒ 区直営掲示板 ☐ その他（ ）
③ 活動内容	Ⅲ. イベント（会議）名：（進路相談のサポート、高校受験対策支援事業）
	ア イベント（会議）の開催予定等
	活動内容： ・外国にルーツをもつ中高生への進路相談及び受験のための対策指導を実施する。 ・高校中退者への高卒認定試験対策や専門学校・大学進学指導を実施する。 実施期間：R6 年 6 月 ～ R7 年 3 月 実施回数：（ 3 ）回／年 ※7、11、3 月実施 実施場所：会場（ 大久保地域センター ）
	イ 対象者及び参加予定人数
	対象者：外国にルーツを持つ中高生 15 名 参加予定人数： のべ（ 45 ）名
	ウ 周知
	<媒体> ☐ ポスター ☒ チラシ ☒ HP ☐ その他 （ ） <周知先> ☒ 区施設（特別出張所、地域センター等） ☒ 区直営掲示板 ☐ その他（ ）
	エ スタッフ等人数（のべ人数を記載）
	団体構成員（ 5 ）名 講師等（ ）名
	アルバイト（ ）名 ボランティア（ 22 ）名

③ 活動内容	IV. イベント（会議）名：（ 居場所づくり、カウンセリング活動事業 ）
	ア イベント（会議）の開催予定等
	活動内容： ・日本語教室が始まる前に料理教室や折り紙、お互いの国の様々な伝統的な遊び、伝統文化を体験し話し合うことを通して、外国にルーツをもつ小中高生の居場所づくりを行う。 ・カウンセリング事業として保護者の生活相談・支援、健康医療相談・支援を行う。 ・韓国へ留学している大学生への生活相談・支援を行う。 実施期間：R6 年 6 月 ～ R7 年 3 月 実施回数：（ ）回／月 ※随時 実施場所：会場（ 大久保地域センター ）
	イ 対象者及び参加予定人数
	対象者：小中高生・保護者、留学生 参加予定人数： のべ（ 20 ）名
	ウ 周知 <媒体> ☐ ポスター ☒ チラシ ☒ HP ☐ その他 （ ） <周知先> ☒ 区施設（特別出張所、地域センター等） ☒ 区直営掲示板 ☐ その他（ ）
エ スタッフ等人数（のべ人数を記載）	
団体構成員（ 5 ）名 講師等（ ）名 アルバイト（ ）名 ボランティア（ 22 ）名	

④ 安全対策等	ア 事業実施にあたっての具体的な安全対策
	<個人情報管理> ・入手した生徒に関する個人情報は、法人が定めている「個人情報保護規程」により管理を行う。 ・個人情報については、鍵のかかる書庫に保管し、特定のスタッフのみが見ることができるパスワードを設定し、適切に保管を行う。 <安全管理体制> ・事業実施上、事故が発生した場合には職員連絡網等により連絡の取れる体制を整える。 ・日本語学習教室開講時は、ボランティア講師のほか、法人常勤スタッフが常に立ち会い、問題発生時に早急に対応できるようにする。

	イ 事業実施にあたっての感染症等への対策 〈新型コロナウイルス感染症等感染予防対策〉 ・学習指導当日は手洗い、うがい、アルコール消毒等を励行する。 ・室内の換気を適宜行う。 ・生徒と講師、人同士の間隔を確保する。 ・生徒と講師は自身の体調把握を行い、発熱場合の場合や体調がすぐれない場合などは教室参加を控える。 ・今後、感染拡大の際には、日本語教室に参加する生徒数およびボランティア講師の数を減らす。また、特別授業や生徒同士の交流などは延期、または人同士の間隔の確保が可能なものを実施する。
⑤ 期待される効果	ア 区民や地域社会への成果・効果 ・多様化が進む新宿区において、様々なルーツを持つ子どもたちの居場所づくり、文化交流を継続する。そして当団体の活動を広く新宿区民を含めた社会に発信することによって、新宿区の外国にルーツを持つ子どもたちが抱える課題とそれに対する当団体の取り組みを知ってもらい、区民や地域社会の人々に「多文化共生」の意義を考えていただくきっかけづくりをする。 ・区民や地域社会の構成員の方に関心を持ってもらうだけでなく、文化交流などのイベントに実際に参加いただくことで、子どもたちや子どもたちの保護者を含む家族のルーツを知ってもらうこと、お互いに交流を深めることで相互理解の促進と関係構築につなげる。これが多文化共生社会の実現のための大切な一歩になる。子どもたちを社会全体で見守り、将来の選択肢を多く持てるように支える社会づくりに寄与する。 ・課題とそれに対する取り組みである活動について知っていただくことで、活動継続のために応援してくださる区民の方を増やし、団体の安定した活動基盤構築に繋げ、子どもたちの居場所を守り続ける。
	イ 現状や課題に対する成果・効果 ・チャプチャアカデミーが主催する日本語教室に通うことで安心して過ごせる環境を創出する。個別の学習支援を行うことにより、放課後の子どもの居場所を確保できる。 ・日本語理解を深めることによる子どもたちの学習意欲の増進、学力向上、自己肯定感の向上につなげる。 ・外国にルーツのある子どもたちの民族性の尊重に基づき、子どもたちのアイデンティティを重んじた特別授業を行うことで、外国にルーツのあることを自ら自覚し誇りを持って生きる力を育成する。 ・学習支援を行うだけでなく、年齢に応じた進路相談及び指導、学校を退学した子どもの生活支援、進路指導を行うことで、子どもたちの将来の選択肢を増やす。 ・民族的風俗に基づく料理教室や遊戯などを通して、お互いの文化の理解と尊重、交流活動を行う。 ・大久保小学校や大久保地域センターで活動を行なうことにより、地域の子供たちにとってより身近に感じる場所で、学習などに取り組むことができる。

⑥ 先駆性・専門性	【ボランティア人材の確保及び育成】 ・本事業は、法人事業の中で地域における交易的な活動として位置づけており、永続的な活動実施を目指している。事業実施には、大学生ボランティアの協力が必要であり、本事業に賛同を得られるように大学などに呼びかけ、ボランティアの確保を行っていく。 ・子どもを指導する立場として責任をもって指導していくために、毎時授業報告書を書いてもらい、担当した子どもの当日の学習状況・課題、次回の学習につなげるための事柄・課題を確認していく。 ・授業全体を総括する常勤ボランティアは授業報告書に基づき、適宜授業計画の検討と調整を図り、子どもの学習が、子どもの要望・能力に応じ円滑に行われるようにする。 ・授業などを通して子どもの様子や状態に気を配り、気になった言動などがあれば速やかに報告してもらい、必要があると認めたときには子どもや保護者と話をして、問題解決を図る。
⑦ 今後の展望	【地域とのネットワーク構築】 大久保小学校や近隣の小中学校・高校、大久保地域センターを対象に、本事業の成果を周知するとともに、広報協力の依頼を行うなど地域とのネットワークを構築して、連帯を深めていく。 【財源確保】 助成期間終了後は、NPO 法人格取得後 2 年間の事業実施で得た地域とのネットワークと、事業成果の可視化により、区民や企業などに広く活動継続のための寄付を募る。イベント等を通じて新宿区民との関係構築を進め、当団体の活動に共感し、応援してくださる方を 2024 年度中に増やしていくことを目標とする。まだ知名度が低い団体であるからこそ、新宿区での活動の認知度を上げ、団体の活動に参画いただく区民の方を増やすことが急務である。 【チャプチャアカデミーの卒業生が社会に与える影響】 これまでの 11 年間および 2 年間（2024 年度を含む）の事業実施で支えてきた子どもたち約 100 名の卒業生たちが社会人となった際に、日本社会において安定した生活を送れるようになることを目指す。 社会での居場所を見つけ、家庭を持った際には、現状の課題である「親の所得格差から生まれる子どもの教育・所得格差が、その子どもたちの将来の格差につながる」という負の連鎖を断ち切ることが期待できる。 上記を実現し、その意義を広めていくためには、NPO 法人として活動 2 年目を迎える 2024 年度に、ボランティアを含めた人員体制の拡充、財政基盤を固めるための支援者（会員、寄付者）の輪を広げていくことが不可欠である。人員体制、財政基盤に弱みがある現状を打破することで、活動の安定継続と中長期的に今後の活動を発展させていくことができる。そのためにはまず団体の基盤を確固たるものにすることが必要であり、本助成をいただくことでその実現が可能となると考えている。

⑧ 過去にこの助成を受けた実績	助成年度（ ）	事業名（ ）
	助成年度（ ）	事業名（ ）
	助成年度（ ）	事業名（ ）

⑨ この事業に対する他の助成の有無 (申請中のものを含む)	☐ 有 ☒ 無
	有 の 場 合 は 、 助 成 名 称 (団 体) 及 び 助 成 額 助 成 名 (団 体 名) : 助 成 額 : 円 ※新宿区の他の助成制度からの助成が決定した場合には、本助成金は受けられません。新宿区以外の団体からの助成金がある場合には、その金額を差し引いた額が本助成額になります。本助成金への申請後に、同事業で新宿区外の補助金へ申請される際は、必ずご相談ください。

収支予算書

支 出 区 分	費 目	予 算 額	内 訳
	①使用料及び賃借料	16,800 円	大久保地域センター（調理工作室 夜間1・夜間2） 1,400円（団体登録料金）×12回=16,800円
	②消耗品及び印刷費	10,500 円	チラシ印刷（A4片面モノクロ）10円×1,000枚=10,000円 ポスター印刷（A3片面カラー）50円×10枚=500円
	③委託費	0 円	
	④講師謝礼	30,000 円	講師謝礼（特別授業時の交通費として） 10,000円×1名×3回=30,000円
	⑤その他謝礼	880,000 円	ボランティア謝礼（交通費として） 1,000円×22名×4回/月×10か月=880,000円
	⑥交通費	0 円	
	⑦保険料	0 円	
	⑧その他諸経費	0 円	
	⑨感染症等対策経費	0 円	※上限額2万円以内 (20,000)
	⑩人件費	0 円	※下記「事業費」の25%以内 (312,433)
	事業費（①から⑩の合計）	937,300 円	
	⑪ファンドレイジングに関する経費	0 円	※事業費の5%以内 (46,865)
	⑫助成対象経費 （事業費+⑪）	937,300 円	
	⑬助成対象外経費	0 円	
	事業総額	937,300 円	

収 入 区 分	内 容	予 算 額	積算根拠（内訳）
	㊦ 事業収入 （参加料、資料代等）	0 円	
	㊧ 寄附金	300,000 円	サポーターによる寄付金収入
	㊨ 補助金等収入	0 円	
	㊩ 協働推進基金助成金	500,000 円	「㊧～㊨、㊩～㊪の合計」の2/3と「㊩」の合計 ※千円未満切り捨て
	㊪ 団体負担金	137,300 円	
	収入総額	937,300 円	

団 体 概 要 書

団 体 名	(ふりがな) とくていひえいりかつどうほうじん ちゃぶちょあか데미ー 特定非営利活動法人チャプチョアカデミー	
所 在 地 (主たる事務所)	[REDACTED]	
代 表 者 氏 名	(ふりがな) もとなみ きょんひ 元波 慶禧	
	連絡者氏名	[REDACTED]
	住所	[REDACTED]
	電話	[REDACTED] FAX
	e-mail	[REDACTED]
設立(活動)開始年月 (法人設立年月)	法人の場合 法人設立 2023 年 4 月 その他の場合 年 月活動開始 活動歴 年 か月 (年 月末日現在)	
会 員 数 (構 成 員 数)	個人: 36 名 団体: なし	入会条件 会員の入会について、特に条件は定めない。
主 な 活 動 地 域	東京都 新宿区・市 その他 ()	
広 報 関 係 の 有 無	(会報、広報誌等の発行) 有 (年 回発行) / (無) (ホームページ) (有) (URL https://jabchoacademy.wixsite.com/official) / 無	
団 体 の 目 的 (定款の目的)	この法人は、外国にルーツを持つ子どもたちを対象とした日本語教育事業、外国にルーツを持つ子どもたちやその家族を対象とした学習・生活支援事業を行い、子どもたちの健全育成と円滑に地域に適応するための支援で、地域社会の多文化共生の社会づくりに寄与することを目的とする。	

主 な 活 動	新宿区民を対象とした活動 外国にルーツをもつ小中高生を対象とした日本語や教科学習の支援活動を行う。また、自己のルーツを大切にするための特別授業を各学期末（7月・12月・3月）に行う。 互いの母語や文化・風俗を学びあい体験する、民族音楽・民話などを楽しむ等のイベントを行い、交流を図る。
	上記以外の活動
新宿区との連携実績	

・外国にルーツを持つ子どもたち

日本語教育事業

外国にルーツを持つ子どもたち

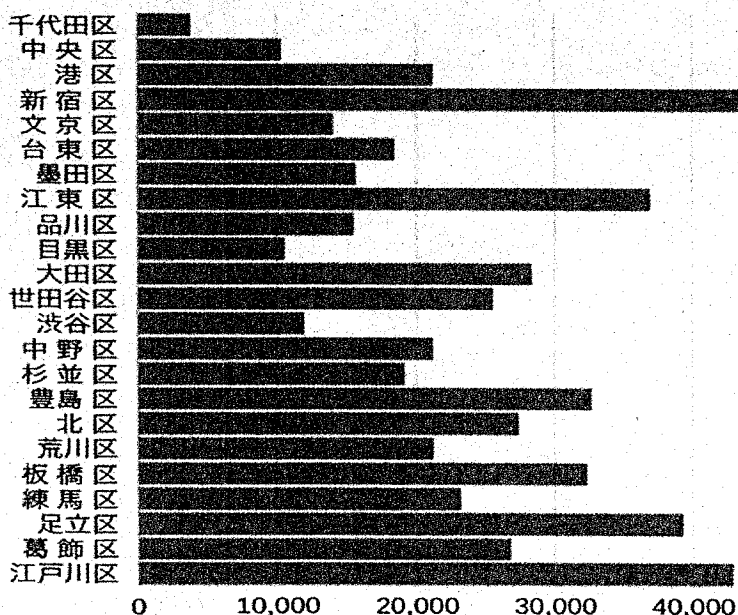
家族を対象に学習・生活支援事業

地域での円滑な適応となる支援

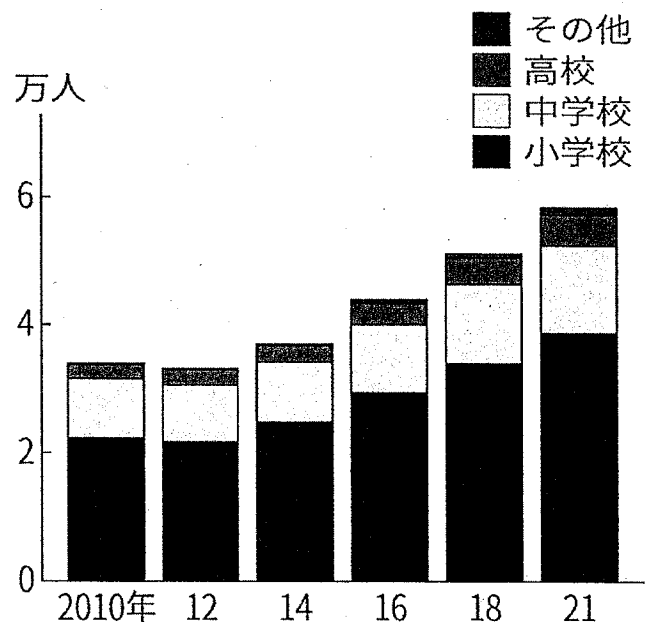
地域社会の多文化共生の社会づくり

未来を築く多文化共生新宿区をめざして

各区ごと外国人数



日本語指導が必要な児童生徒



日本語学習の検証 児童・生徒の言語発達段階に応じたカリキュラム作成

日本語学習

日本語教育は、日本語が話せるだけではない。

日本語支援は、日本語という言語を様々な教授法や技能に応じて指導法を身に付け、日本や韓国や外国の文化や習慣など、異なる人と互いに理解を共有するための国際感覚が求められる。

きめ細かな対応	学習者のニーズにより、 ①教科書の補充 ②独自のプリント
どのように対応か	学習者の個別の学習状況に対応
その実効性	

日本語教育事業 多文化共生のために

子どものための日本語・語学教育を考える

外国人の子どもの公立義務教育諸学校への受入(文科省)

1) 日本語学級の法的根拠・教育基本法】

1 教育の目的・目標

(教育の目的)

第1条 教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

(教育の目標)

第2条 教育はその目的を実現するため、学問の自由を尊重し行われるものとする。

チャプチョの「日本語教育」

外国にルーツをもつ子どもたちへの日本語教室事業

【参考資料】教育基本法（平成18年12月22日法律）

（義務教育）

・外国人の子どもには、我が国の義務教育への就学義務はないが、公立の義務教育諸学校へ就学を希望する場合には、国際人権規約等も踏まえ、日本人児童生徒と同様に無償で受入れ。

チャプチョでの特別活動

1文化、芸術を通しての国際交流

母文化の歴史・人権学習

2進路相談のサポート、高校受験対策支援

進路選択の情報・志望校の受験対策

3居場所づくり、カウンセリング活動

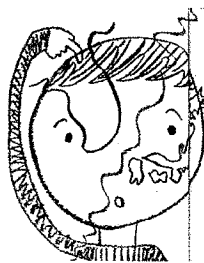
チャプチョでの子どもたちの交流・アイデンティティ形成

ぼく、いいものいっぱい（自尊感情）

ぼくは韓国が大好き。
いちばん好きなのは国民だ。
国民はやさしいから好き。

ぼくは日本に来て一年たった。
でもぼくは韓国語をわすれちゃった。
ぼくはかなしい。

ぼくは、このままで日本人になるのかな。



にほんの おとうさんと

かんこくのおかあさんとであって

ぼくはうまれました。

キムチと あないです。

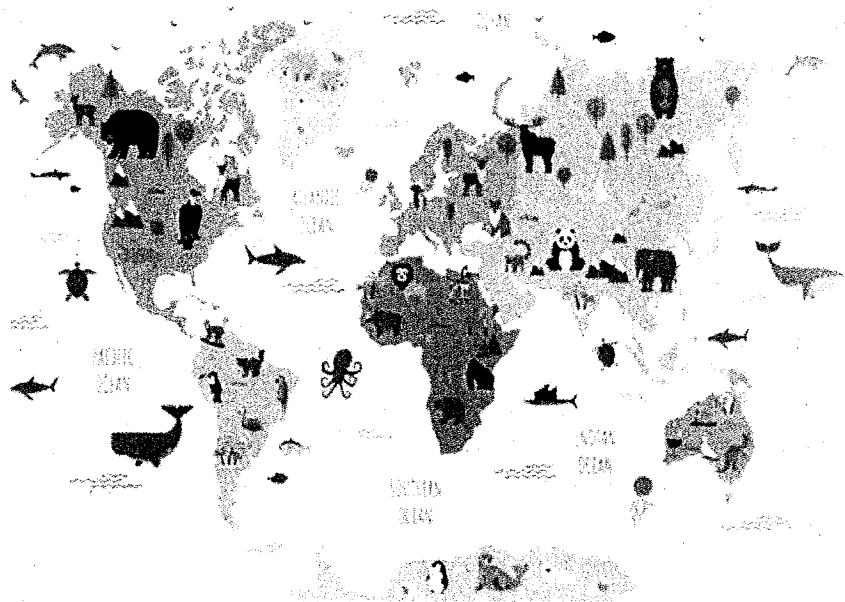
だから、ぼくは かにほんじん

いいものか

（韓日本人）です。

いっぱいあると おもいます。

ニューカマーの教育の課題 -ひとにも切り捨てない教育-



チャプチョでの子どもとの出会い

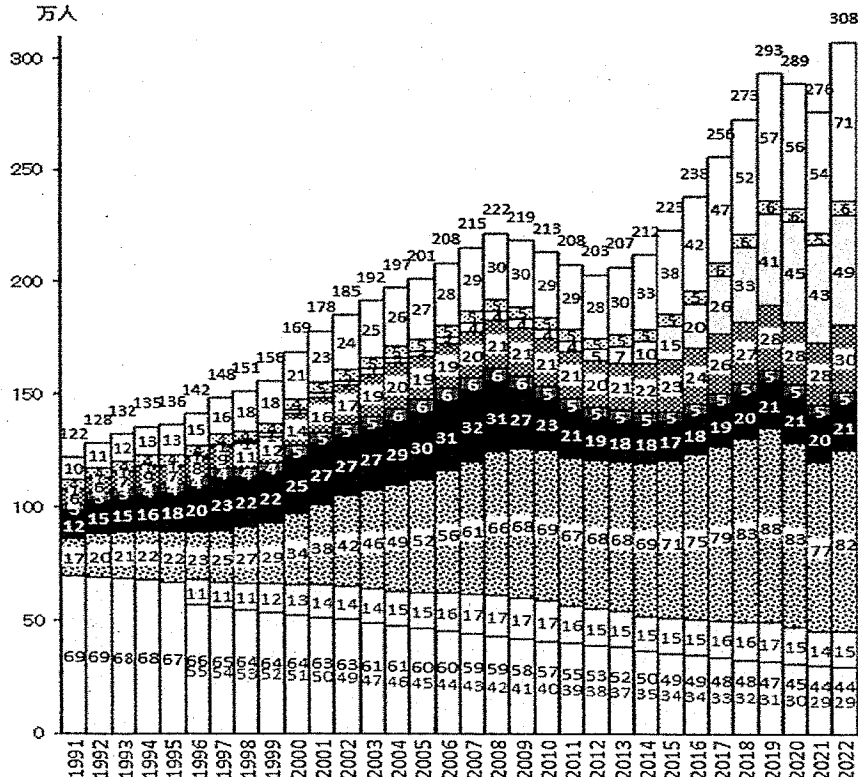
・雨の中歩いて帰る時、
 1人の生徒からつぶやいた言葉
 が思い出します。

1月から日本に来て息が詰まっ
 て死ぬと思ったけど、

チャプチョにくると韓国にいる
 ような気がする。

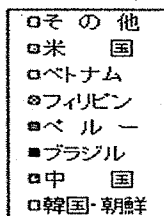
良かったです。

在留外国人(登録外国人)数の推移(毎年末現在)
 万人

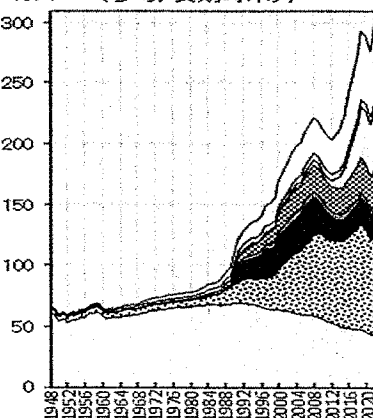


国籍(出身地)別在留外国人(登録外国人)数の推移

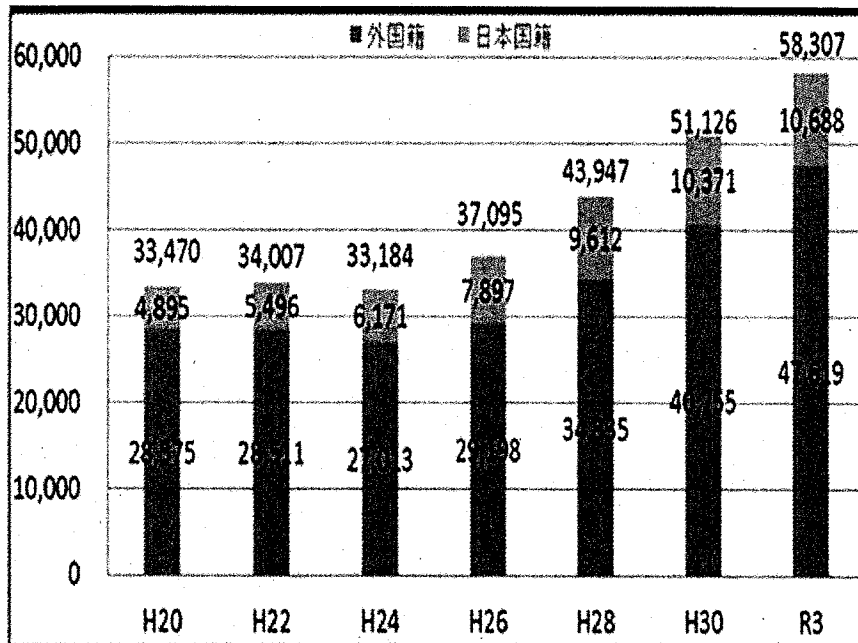
単位:人	2002年末	2022年末	増減数	倍率
総 数	1,851,758	3,075,213	1,223,455	1.7
韓国・朝鮮	625,422	436,670	-188,752	0.7
中 国	424,282	818,857	394,575	1.9
ブラジル	268,332	209,430	-58,902	0.8
ペ ル ー	51,772	48,914	-2,858	0.9
フィリピン	169,359	298,740	129,381	1.8
ベトナム	21,050	489,312	468,262	23.2
米 国	47,970	60,804	12,834	1.3
そ の 他	243,571	712,486	468,915	2.9



万人 (参考) 長期時系列



だれもがともに泣き共に笑いあう そんな世の中が来ないものか(公立学校日本語指導が必要な児童・生徒)



～新宿区協働推進基金～

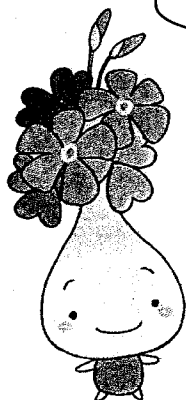
区民の方・事業者の皆さんからのご寄附を基金として積み立て、NPO等の非営利の団体が行う区民のための社会貢献活動に助成を行っています。（本助成もこの基金から助成を行っています）。

新宿区では、活動を支援するためにご寄附の受付を行っています。基金へのご寄附は税制上の優遇措置（寄附金控除）が受けられます。詳しくは、管轄の税務署・お住いの区市町村の税務担当課にお問い合わせください。

ご寄附をいただける方は地域コミュニティ課管理係（5273）3872までお問い合わせください。寄附金を直接、地域コミュニティ課管理係またはお近くの特別出張所窓口にお持ちいただくこともできます。

社会貢献活動のご興味があってもなかなか時間がとれず、参加ができない方等にも基金を通じて社会貢献ができる制度です。是非お気軽にお問い合わせください。

NPO等の先駆性や専門性を活かした事業に助成し、区民の皆さまが暮らしやすいまちづくりを目指します！



新宿区地域振興部地域コミュニティ課
管理係

TEL:03-5273-3872 FAX:03-3209-7455

URL:<https://www.city.shinjuku.lg.jp/>